

氏名	松 下 和太郎
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3083号
学位授与の日付	平成9年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	中年女性の正中神経M波の特徴 —正常例ならびに特発性手根管症候群罹患例について—
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 松井 秀樹 教授 村上 宅郎

学位論文内容の要旨

特発性の手根管症候群(CTS)が中年女性に多いことは経験的によく知られている。中年女性における正中神経M波の特徴の有無を、正常人および特発性CTSの症例で検討した。

全例に両側のM検査を行い、遠位潜時、振幅(遠位刺激)、振幅比(近位/遠位)、最大運動神経伝達速度を測定した。正常人の中年女性は、遠位潜時の左右差が若年成人女性より大きく、利き手側の遅延が明らかであった。中年女性は若年成人女性に比べて、特に利き手側においてCTS発症の素地があると考えられた。中年女性の特発性CTS片側例では症状を訴えない対側手における遠位潜時の異常が約半数にみられ、高年女性や中高年男性の症例より明らかに多かった。中年女性の特発性CTSでは、両側罹患となる症例が多いことを念頭におき、症状を訴えない対側手における潜在性異常の有無も電気生理学的検査で確かめるべきである。

論文審査結果の要旨

本研究はヒトの正中神経を臨床電気生理学的に研究したものであるが、女性では中年になると潜在性異常が特に利き手の正中神経で多く認められること、また正中神経障害である特発性手根管症候群を一側に有する中年女性では症状がない反対側の手にも電気生理学的異常を約半数に認めること、など末梢神経障害の診断や予後判定のために重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。